

2016 年 2 月 20 日（土）

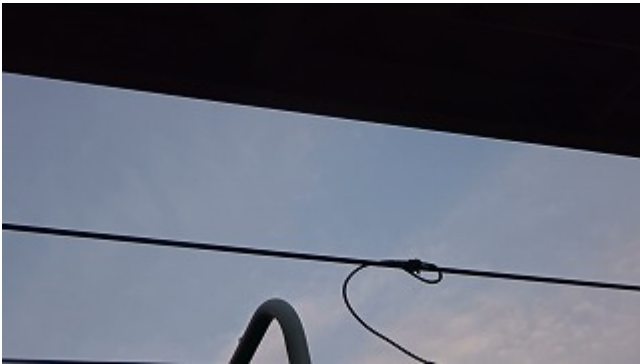
北横岳（2480m）

今回の北八ヶ岳 北横岳雪山ハイクは、雪ないし雨の天気予報で山では降雪を覚悟の上のハイクである。

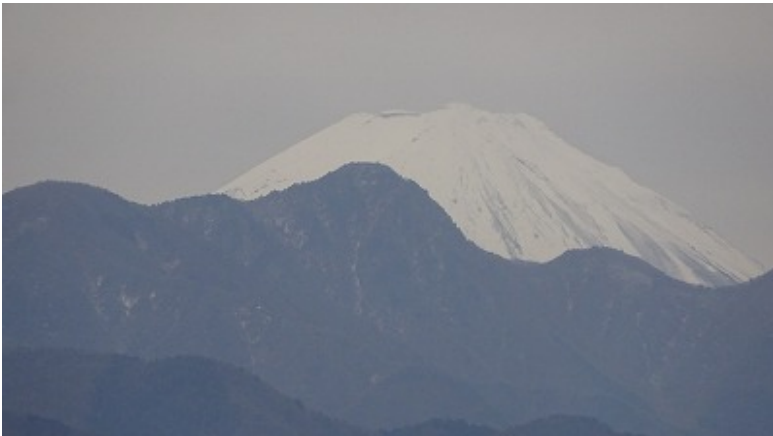
参加者は中島さん、石井さん、吉松さん、根岸さん、熊本の 5 名。 （Report by kumamoto）



中央本線茅野駅 10:00 集合で、あずさ 3 号で中島さん、石井さん、吉松さん、中島さんの 4 名、熊本は一本早いスーパーあずさ 1 号に乗った。



6:40 の新宿の空（写真左）と 7:30 八王子の空（右）は青空が広がっており、午前中もってくれば・・・



大月を過ぎ、塩山あたりで富士山がハッキリ見えていた（8:20）

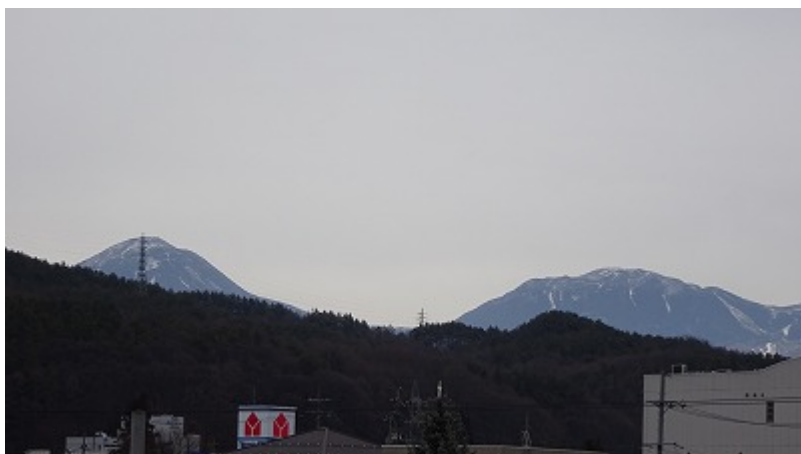


韮崎の観音像と鳳凰山 地藏岳のオベリスクもハッキリ見えている。

甲斐駒も八ヶ岳も雲を被っておらず見ることができた。



茅野駅に 9:05 に到着し、2F から、
八ヶ岳の全景が良く見えた。
写真左から天狗岳、硫黄岳、横岳、
赤岳が雲もなく山頂稜線を見せている。



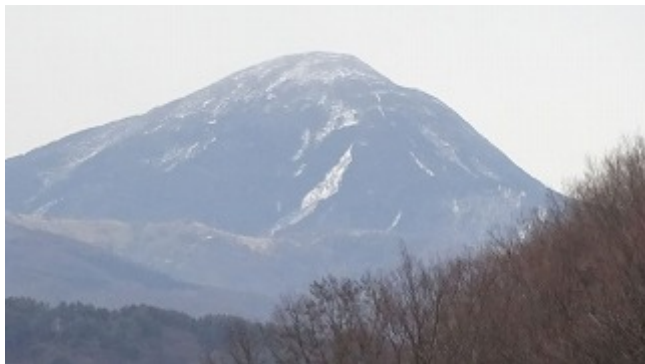
更に、左側には、蓼科山（左）と、
今日、我々が登る北横岳。
しかしここから見る北横岳は雪があまり
見えない。
目的の雪山ハイクが出来るのか不安。



9:52 にあずさ 3 号が到着し、吉松さん、
石井さんが改札口に現れ、中島さん、根
岸さんが続き、5 名全員が揃った。



10:20 発の北八ヶ岳ロープウエー行のバスを待つ。後ろに長蛇の列ができ、増発便を含め満席だった。



バスが走り出して 20 分、左車窓に霧ヶ峰（車山：1995m）が見えてきたが、山頂に全く雪が見えない。次に蓼科山（2531m）も疎らに白が点在しているだけで、ほぼ同高である隣の北八ヶ岳が心配になる。



5 分遅れでロープウエー山麓駅に到着（11:30）。小雪がチラついてた。

11:40 のロープウエーに乗り 1771m の山麓駅から山頂駅（2237m）の約標高差 500m を 7 分で上がった。



山頂駅到着は正午に近く、雪の外での昼食を避け、山頂駅舎 2F の無料休憩所で昼食をとり、スパッツや雨具を着けて、外に出た（12:25）



外は風があり雪が結構降っていて、早速アイゼンを装着し登山準備完了。



12:32 坪庭看板の前で記念写真を撮り、出発する。



坪庭の溶岩堆積地を登る。
今年は雪が少なく、溶岩がむき出しに出ていた。



坪庭を縦断するのだが長い列の登山ツアー客の後に付いてしまった。



12, 3分歩くと、北横岳・三ッ岳分岐の標識が現れ、北横岳への登山道に入る。



一旦、急斜面を下る。



橋を渡り本格的に北横岳への登りになる。

(13:02)



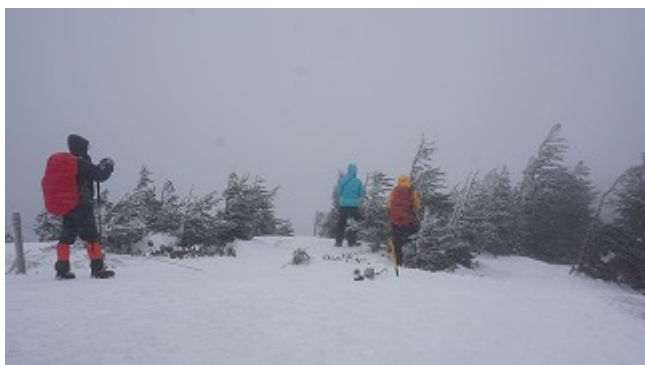
九十九折の急登を進み、林間に入り暫くすると三ッ岳・雨池峠への分岐に出て、我々は北横岳へ向かう。



更に進むと前方に、北横岳ヒュッテが見えてきた。ここで小休止を取る。(13:24)



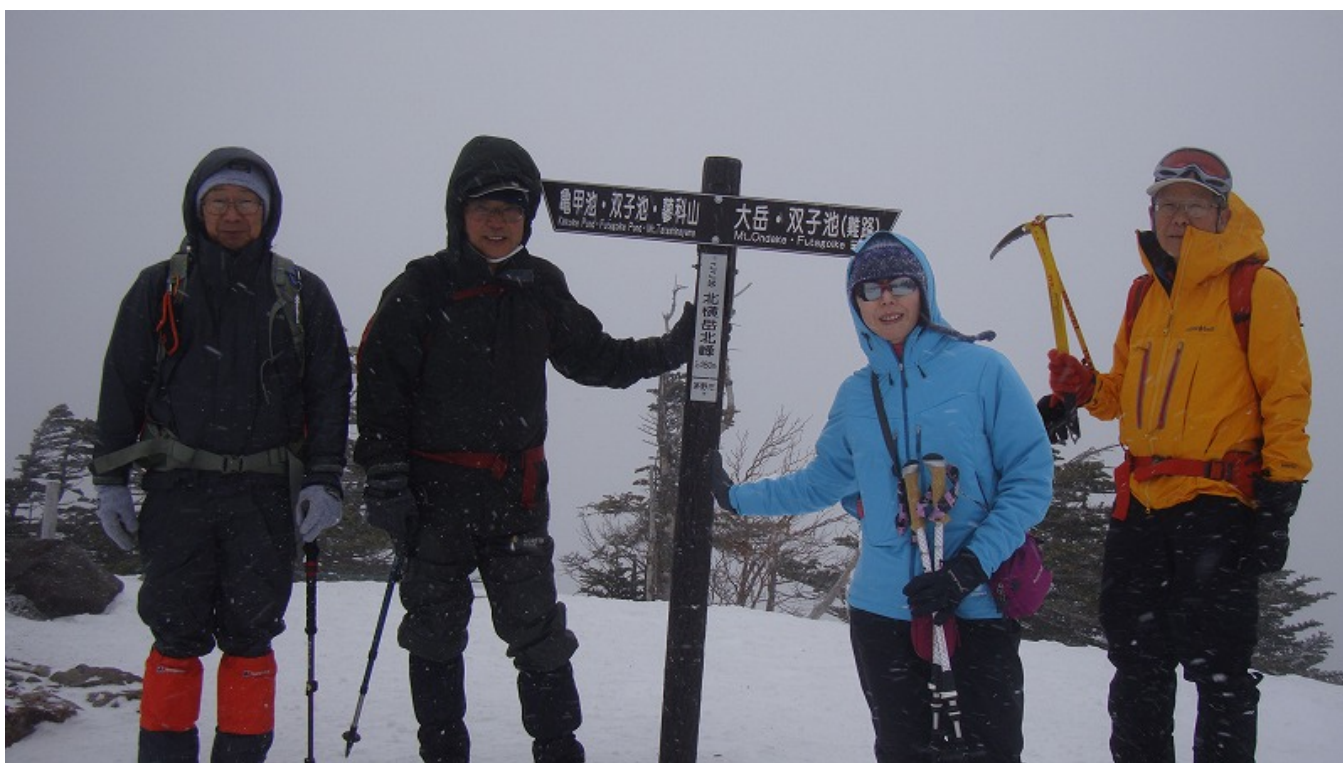
雪が降りしきる中で記念の一枚。



ヒュッテから急登を 10 分強で詰め、13:37 北横岳南峰（2472m）に到着した。



山頂は風が強く寒い、南峰での登頂写真を撮り、北峰に向かう、一人熊本は先にヒュッテに戻る。



南峰から約7分で8m標高が高い最高峰の北峰(2480m)に13:44に到着した。





山頂で強風、寒冷のなかで皆さん、余裕のポーズ



山頂の積雪は少なかったが風が強く寒く、氷結したエビの尻尾は綺麗にできていた。



南峰・北峰を踏破して無事ヒュッテに 4人は帰還した。(14:10)



バスの 15:05 発に間に合うか否かのギリギリの時間であり、急いで下山に入った。



下山途中で見た、坪庭と縞枯山



14:25 に坪庭に戻ってきた。
後 15 分程度でロープウエー山頂駅に戻れるだろう。



14:40 の下りロープウエーに何とか飛び乗り、15:05 発の茅野駅行バスに間に合った。
往路の満席バスと異なり、下りバスはガラガラだった。



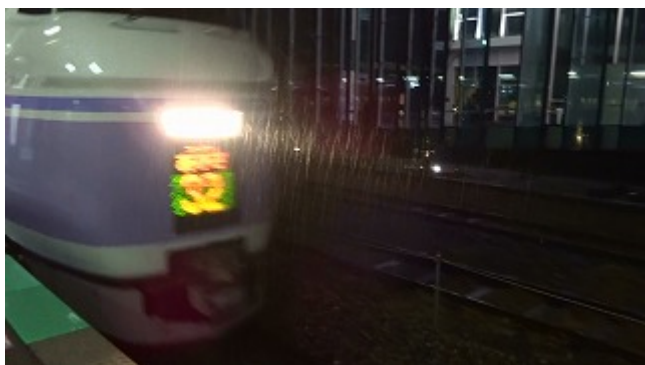
茅野駅に 16:00 に到着し、タクシー（¥2000-）で玉宮温泉「望岳の湯」（¥400）へ。
 前回までアルコールは置いてなかったが、今回は市役所の許可を得て、食堂に瓶ビールがあった。
 冷えた体を熱い温泉で温めて大広間で乾杯！



一時間ほど休憩して茅野駅に向かう。
 入口で写真を撮ったが・・・
 このやり方が失敗だった。
 手荷物をテラスの椅子の上に置いて写真を撮り、急いでタクシーに乗り込んで駅に向かった。
 駅に着き（17:35）降りるときにヤット手荷物を置き忘れてきたことに気が付き、熊本はそのまま温泉に荷物を取りにバック。



4人は予定通りの 17:50 のあずさ 30 号で先に帰ってもらった。
 自由席車両は他の客は殆どなく、独占状態で恒例の一杯やりながら帰路に着く。



一方、熊本は温泉で手荷物を回収してタクシーで駅に戻った時（17:53）、丁度、3分遅れのあずさ30号が入線したところで、タクシーの釣銭に手間取っている間に電車は発車していった。2分早く到着していれば皆と一緒に帰れたのだが・・・

残った熊本は駅蕎麦の（特上）野沢菜わさび昆布そば（¥430）を食べ、これは旨かった。

約1時間遅れのスーパーあずさ32号で帰路に着いた。

忘れ名人堀さん第5号に名乗りを上げた次第です。

雪に降られましたが、最初から覚悟の上でしたので、皆さん雪山ハイクを楽しみました。